

新年のごあいさつ

まちづくりの 新たなステージのはじまり

津市長 前葉 泰幸

平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、新たな年の幕開けを、健やかに希望を持ってお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は本市出身の吉田沙保里選手がオリンピックと世界選手権を合わせて、前人未到の世界大会13連覇を達成し、三重県で初めてとなる「国民栄誉賞」を受賞され、私たちを歓喜と同郷の誇りで包み込んでくれました。

市政におきましては、災害対応力強化集中年間として、津波避難ビルや津波避難協力ビルの指定をさらに進めるとともに、標高マップの全戸配布などを行ったほか、企業誘致や創業支援にも積極的に取り組んでまいりました。

また、子どもの医療費助成の拡充や三重大学・三重県・県立一志病院と連携した地域医療体制の確立に取り組むなど、本市の暮らしやすさの向上を力強く押し進めました。

そして、本年4月からまちづくりの新たなステージの幕開けとして、今後5年間のまちづくりの方向性を示す津市総合計画後期基本計画がスタートします。

この後期基本計画につきましては、市民の皆さまの思いや期待を実現していくことを第一に策定を進めており、終わりなき防災施策の強化をはじめ重点プロジェクトであります新最終処分場や(仮称)津市産業・スポーツセンター、新斎場の着実な整備推進、JR名松線の全線復旧のほか、市民の皆さまの思いをしっかりと受け止め、迅速かつ着実に具体の施策へ反映する「即答・即応し実現する市役所づくり」に努めることとしております。

これからも市民の皆さまとの対話と連携を積み重ね、職員と共に一丸となって皆さまに頼りにされ、誇りに思っただけの市役所を築いてまいります。

本年が皆さまにとって、多くの幸せと明るい希望で満たされた年となりますことをお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。